令和8年度 第1回 吹田市立図書館協議会（会議要録）

開催日時：令和8年（2026年）7月16日（木）午後2時～4 時
開催場所：吹田市立中央図書館4階集会室
出席委員：瀬戸口会長、山田副会長、大坪委員、小林委員、飯田委員、岡委員、岸本委員、岩本委員、泰間委員、安永委員
欠席委員：なし
事 務 局：二宮地域教育部長、大平中央図書館長、桑名参事、添田主幹、栗生主幹、久志千里図書館長、谷川江坂図書館長、澤井さんくす図書館長、迫田千里山・佐井寺図書館長、高砂千里丘図書館長、長尾健都ライブラリー館長、佐野山田駅前図書館長、伊勢村北千里図書館長（指定管理事業者）
傍 聴 者： 2名

Ⅰ 令和8年度 第1回 吹田市立図書館協議会次第
1 新任委員紹介・事務局紹介及び役員選出
2 第12期吹田市立図書館協議会について
3 「令和7年度（2025年度）吹田市立図書館点検・評価報告書（案）」の作成について
4 報告事項
（1） 「令和8年度（2026年度）吹田市立図書館の目標」について
（2） 令和8年度当初予算について
（3） 図書館システム更新後の状況について
（4） 吹田市立図書館の報告事項
（5） 吹田市立北千里図書館（まちなかリビング北千里）令和7年度事業報告について
5 その他
（1） 次回日程について
（2） その他

Ⅱ 会議要録
2 第12期吹田市立図書館協議会について
事務局：前回2月の協議会に引き続き、今期取り上げたいテーマをお伺いしたい。前回は、多文化サービス、学校との連携という提案があった。その他にも、図書館の運営に関して興味関心のあるテーマがあれば、お聞かせ下さい。
委 員：文部科学省が作成の「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」を用いて、全国の基準で吹田の図書館を点検してみてはどうか。基準では数値目標が掲げられていないので、どのように点検するか、知恵を絞る必要はある。
委 員：吹田の図書館を、客観的に見ることができて良いと思う。確かに数値目標は無いが、全国の同規模自治体の図書館との比較はできるのではないか。結果を対外的に発信して

いくということも考えられる。

委　員：吹田はサービスを頑張っているが、中身が見えにくい。AIの進化は著しく、レファレンスでの司書の専門性の発揮や市民ニーズへの対応方法が見えにくくなっている。急速な社会変化に合わせて、図書館の将来の方向性を考える必要がある。例えば、高齢者が増えている中、パソコンが不得手な高齢者や図書館に行けない高齢者を支援するようなサービスなど、様々な観点からサービスを考える必要があるのではないか。未来に向けた図書館の方向性が見えたらと思う。

委　員：市民に対して図書館サービスの見える化をどのように図るのかという話だと思う。AIが間違った情報を提示したときに、AIを使う人間側に知識がないと、修正は難しい。AIの情報と人間の知識をつなぎ合わせていくのが、司書の力量だと思う。この辺りに、図書館の有用性が見えてくるが、なかなか伝わりにくいので、分かりやすさも必要だ。また、高齢者へのサービス含め、民間ではできないサービスについても提示してはどうか。

事務局：「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」を用いた点検については、検証してみる。他市との比較をしながら、吹田の図書館の現状の見せ方について研究していきたい。また、AIの進化は、事務作業での活用時に実感しており、レファレンス業務の将来に不安を覚えることもある。だが、図書館として地域に根差した役割を大切にしつつ、紙の資料や読書の価値も守りながら、市民ニーズに細やかに応えるサービスを考えていきたいと思っている。

委　員：吹田の図書館は、電子書籍の貸出を2021年から始めており、5年ほど経過するので、利用状況や小中学生の1人1台端末での活用状況など、中間評価や総括を行って、現状を振り返ってはどうか。

委　員：確かに、電子書籍については総括を行う時期に来ていると思う。

3　「令和7年度（2025 年度）吹田市立図書館点検・評価報告書（案）」の作成について
（事務局説明）

委　員：貸出数が減少しているとのことだが、人口は減っているのか。

事務局：人口は増えている。

委　員：貸出数は視聴覚資料や電子書籍の貸出を含めているのか。サブスクの普及により視聴覚資料の利用機会が減少しているのではないかと思う。

事務局：貸出数が減った要因のひとつは、図書館システム更新のための休館によるものと見ている。電子書籍の貸出は増加した。システム更新により、資料を検索した際、検索結果に図書と電子書籍が一緒に表示されるようになったことが関係していると思われる。

委　員：サービス方針1にある児童書の年齢別リストについて、改訂は定期的なものか。もしくは理由があっての改訂なのか。

事務局：年齢別リストは、掲載している書籍の出版状況や内容が社会情勢に合っているかなどを考慮して、定期的に改訂している。

委　員：リストはどこで利用されているのか。
事務局：館内で配布するほか、図書館ホームページにもおすすめの本として載せている。図書館によってはコーナーを作って掲載図書を展示している。

4　報告事項
（1）　「令和8年度（2026年度）吹田市立図書館の目標」について
（事務局説明）

委　員：市内の地域文庫の数は3つになったが、地域において子供と本を結ぶ活動をしている文庫に対して、吹田市の図書館の支援が手厚い。子供が本を読まないということはなく、私の関わっている文庫に来る子供の数は増えている。引き続き、「子どもと本のまつり」などの行事の開催や文庫への支援をしてほしい。
事務局：子供と本をつなぐ地道な活動を続けていきたい。
委　員：外国籍の子どもへの支援はありがたい。本を使って子供の学びを広げることが大切。学校でも子供を本の世界につなげる取組は行われているが、多文化や多様性などについて地域で学べる場として、図書館でも講座など実施してもらえるとよい。
委　員：学校で配付された端末を図書館に持って行くと、Wi-Fi に接続して端末を利用できるが、実際どれくらい利用されているのか。
事務局：学校で配付された端末を Wi-Fi につなぐことができるのは、中央図書館と北千里図書館のみだが、統計は取っていない。（分室を除く）全図書館に公衆Wi-Fiを設置しているが、学校の端末はつなげない。
委　員：「目標」のサービス方針5の令和8年度目標数が令和7年度実績数より少ないのはなぜか。
事務局：サービス基本計画で定めた指標として、サービス方針5の4つのサービスそれぞれで連携企画を1回以上実施することを設定しているため、4回にしている。
委　員：図書館の借出カードを紛失して、その後の手続きが面倒で行かなくなる場合もあると思うがカードのデジタル化は行わないのか。
事務局：（令和4年3月から）図書館ホームページのマイライブラリからログインすることで、カードをデジタルで表示することができるようになっている。
委　員：図書館の来館は増えているが貸出が減っているとのことだったが、どの年齢層が少ないか統計を取ってはどうか。また、図書館に所蔵していない本の予約をホームページで受付することができればサービスが向上するのではないか。
事務局：図書館の統計で年齢別の貸出統計を取っている。小学校高学年から20代の貸出が少ない状態。所蔵していない資料の予約をホームページ上で受付することについては検討したい。
事務局：来館しているが貸出につながらない人については、貸出をされないので統計上、年代が分からない状態。ホームページ上での予約については、少し前から、発注中の資料

に予約ができるようになっており、少しずつではあるが便利に利用してもらえるようになってきている。

（2） 令和8年度当初予算について
（事務局説明）

委　員：図書の値上がりが激しいが、図書購入費の予算は変わっていない。購入冊数が減っていることも、貸出減少の理由の一つではないか。図書購入費が減っている自治体もある中で、維持しているのは立派だが予算要求時にどのように説明しているのか。
事務局：現状の水準を落とさないことを目標にしている。効率的な予算の使い方を意識している。

（3） 図書館システム更新後の状況について
（事務局説明）
（質疑応答なし）

（4） 吹田市立図書館の報告事項
（事務局説明）

委　員：（宿題タスケルンジャーについて）夏休み期間が8月末まででではないので、夏休み期間に合わせた実施時期としてはどうか。
事務局：学校が始まっても駆け込みで利用があるため、8月末までとしている。
委　員：子どもと本のまつりの様子を見に行った。ぬり絵等の掲示の仕方で残念なところがあった。参加者である子供の目線に合わせた掲示方法、見せ方を検討してほしい。
事務局：いただいた御意見も参考に、来年度以降どのような工夫をすればよいか等、各館で検討していきたい。

（5） 吹田市立北千里図書館（まちなかリビング北千里）令和7年度事業報告について
（事務局説明）
（質疑応答なし）

5 その他
（1） 次回日程について
（事務局説明）
（2） その他
（事務局説明）